

ZORRO ルーフカウル フォルツァ (MF10) 用

※2010/1 月以前のモデル

取扱説明書

取り扱いについてのお願い

■ワイパーの使用について

ゾロのスクリーンにはシリコン系ハードコートを施しており、ハードコートをしていないポリカーボネートに比べワイパーの使用による傷がつきにくくなっております。しかしながら、スクリーン表面が水に塗れていない状態でのワイパーの使用や、少雨時での必要以上のワイパーの使用はスクリーン表面のコーティング層を傷つける恐れがあります。スクリーンを長くご使用いただくために、ワイパーのスイッチはこまめに切り替えていただくことをお勧めします。

■スクリーンのお手入れについて

スクリーンの表面を洗浄することで撥水性が保てます。スクリーン、ワイパーブレードの砂埃、汚れは中性洗剤を使用して濡らしたタオル等で拭いてください。また、研磨剤の使用はコーティングが剥がれ本来の性能が損なわれるためお止めください。

■タイヤ空気圧について

タイヤ空気圧はルーフの振動に敏感に大きく影響します。操縦性に悪影響のない範囲でやや低めの設定をお勧めします。

■メンテナンス時のルーフ取り外し要領

整備などでルーフを外す場合はスクリーン下側4本、ルーフ上面の4本のウェルナットを外すことで右画像のようにフロントカウル、スクリーン、ワイパー、ルーフを一体で簡単に外すことができます。

(ワイパーコードのカプラーを忘れずに抜く)



■ウェルナットに関して

ルーフカウルの取付に使用するウェルナットは、一度使用すると膨れて変形しますが、熱湯に漬けることである程度回復し、再利用できることがあります。また変形が残ったものでも、ビードワックスや洗剤などを少量付けることで差し込み易くなりますが、ある程度時間経過した場合、再利用できないことを考えて、脱着の際は事前に新しいウェルナットをご用意ください。(一つ¥100で販売)

取 付 説 明

必要工具

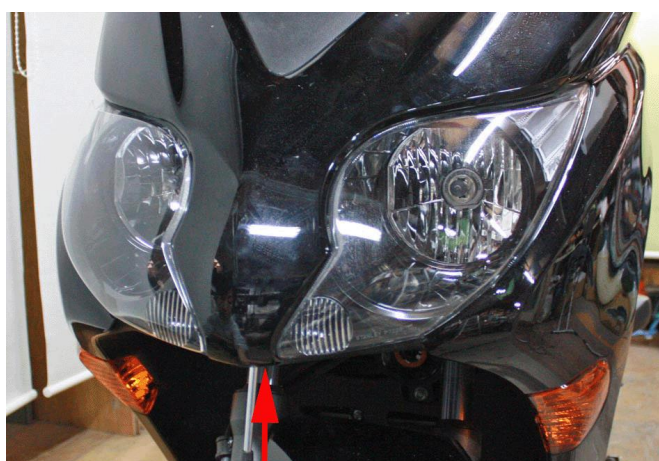
ドリル (10mmのキリがつかめるもの)、10mmキリ (一般鉄鋼用)、
内貼りはがしまたはプラスチックヘラ、6角レンチ、カッターナイフ
一般整備工具 (ボックスレンチ、スパナ、ドライバー等)



1. スクリーンを止めているビスのカバーをヘラを使ってはずす。



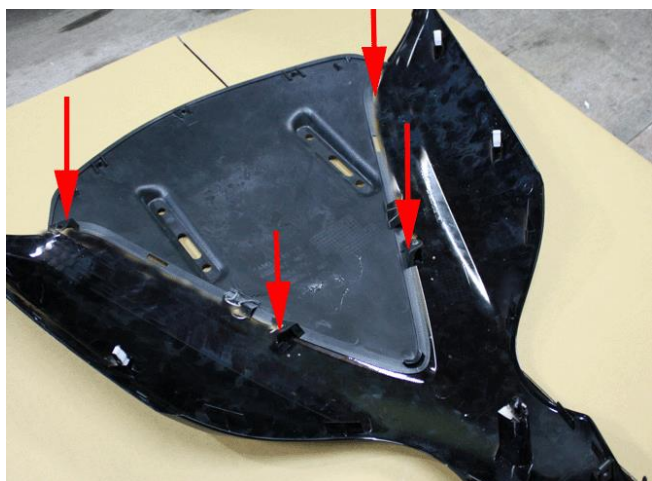
2. 4か所のビスを取ってスクリーンを外す。



3. あごの下のビスを取る



4. ヘラで矢印の方向へ力を加えて外す。

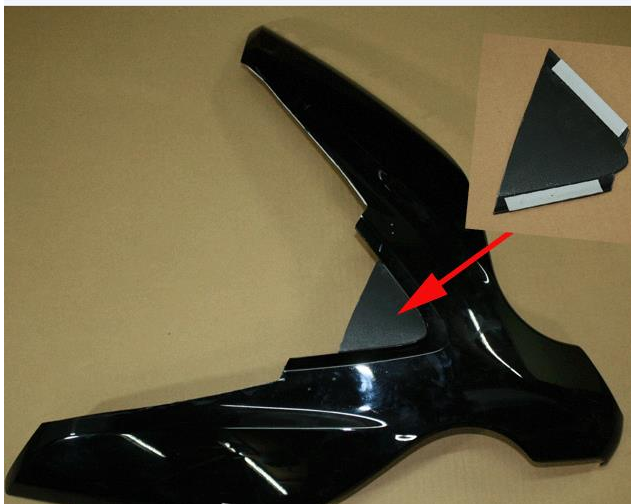


5. 外したカバーをばらす。



6. 付属の型紙をあててカバーを切り落とす。
(カッター、鉄のこ、又はサンダーなど使用。)
カッターの場合刃を充分ねかせて何回か同じ線を
なぞる。油をつけると楽に切れる。

刃の進行方向には絶対手をおかない。



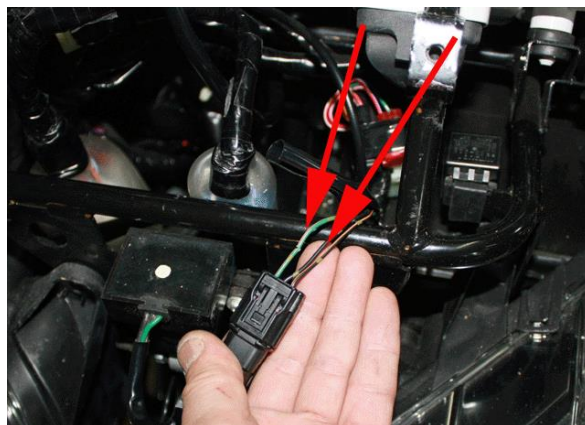
7. 切り落としの終わったカバー。付属の両面テープの付いた△プレートを裏から貼る。



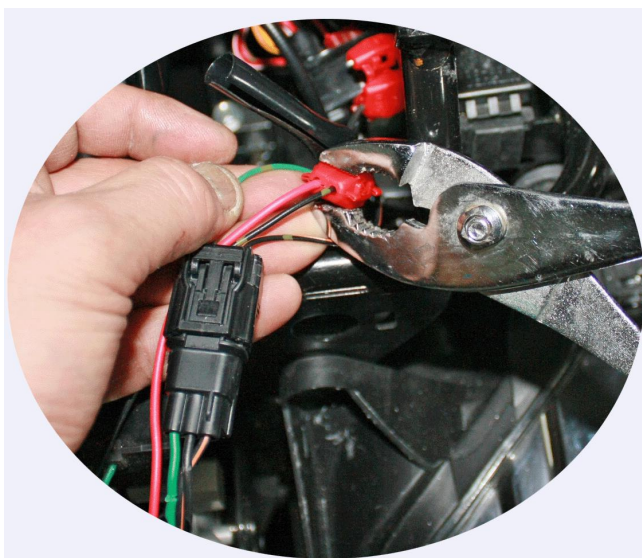
8. ワイパーの電源コードをハンドルポスト穴から前へ通す。



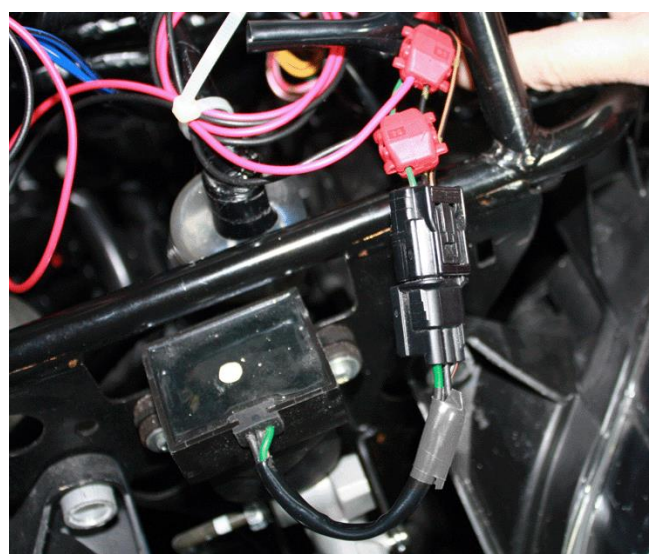
9. 前に出したコードの先を画像の位置でテープで留めておく。



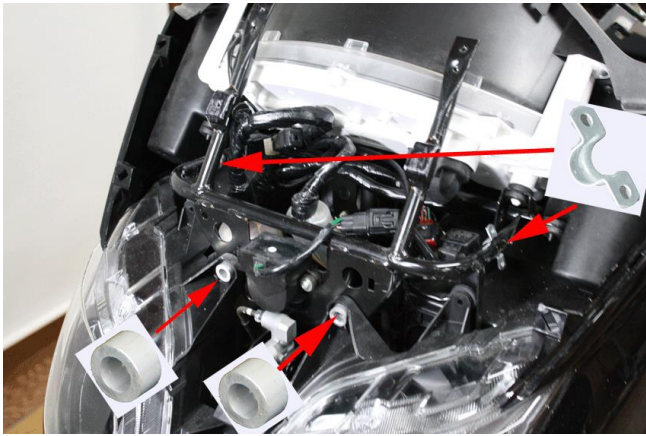
10. 矢印のコードからワイパー電源を取る。
ワイパー側赤コードと車体側黒コードをつな



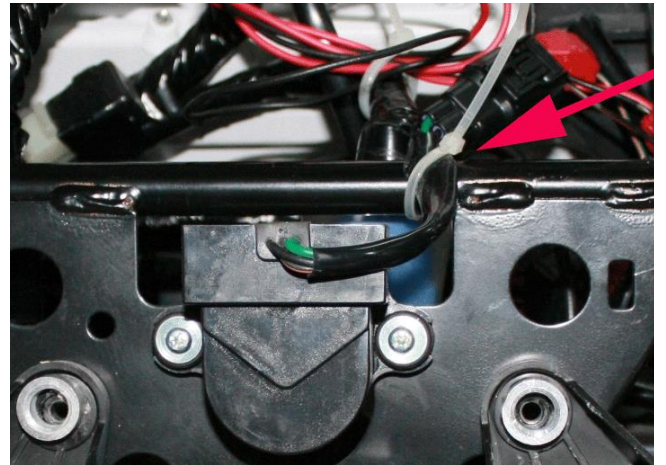
11. ワイパー側黒コードと車体側緑/橙コードをつなぐ。(ワンタッチカプラーでビニール被覆のまま上からコードを挟むだけ)



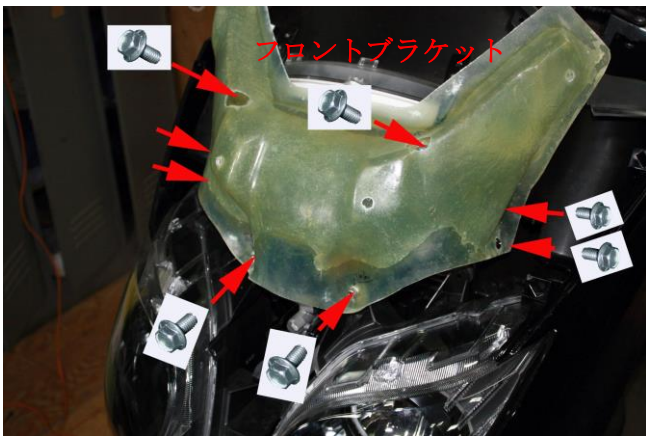
接続完了の図



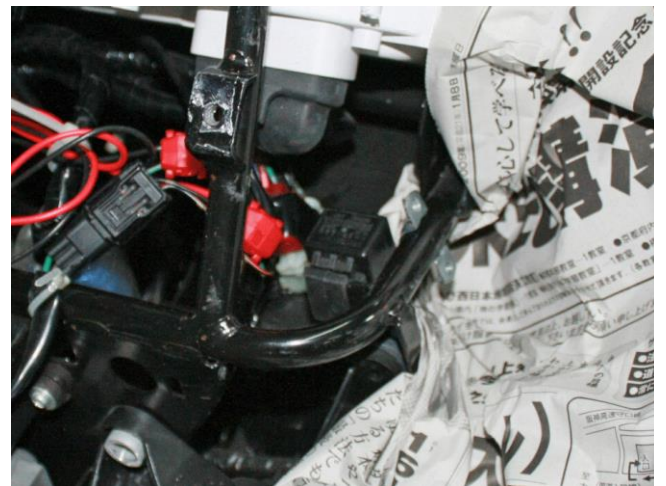
1 2. スペーサー（カラー）は落ちないように瞬間接着剤で留める。サドル（オーム型金具）はフロントブラケットを少しだけ被せた時点で裏からはめる。



1 3. 黒いカプラーが次に被せるフロントブラケットの邪魔になるのでタイラップでコードを固定。



1 4. サドルやそのビスは中に落とし込みやすいので予め新聞紙などで受けるようにした方がよい。強く推奨



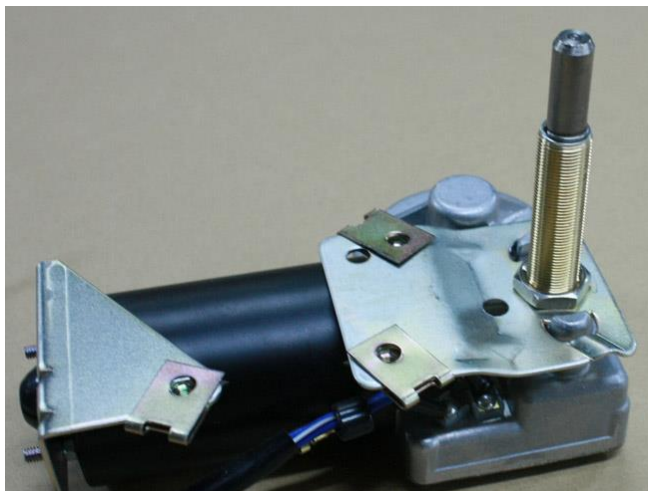
新聞紙を詰めたところ。



1 5. 先に加工したカバーをはめる。下のビスも忘



1 6. スポンジを貼る。（傷、音防止）



17. ワイパーモーターのシャフトを図の状態にす



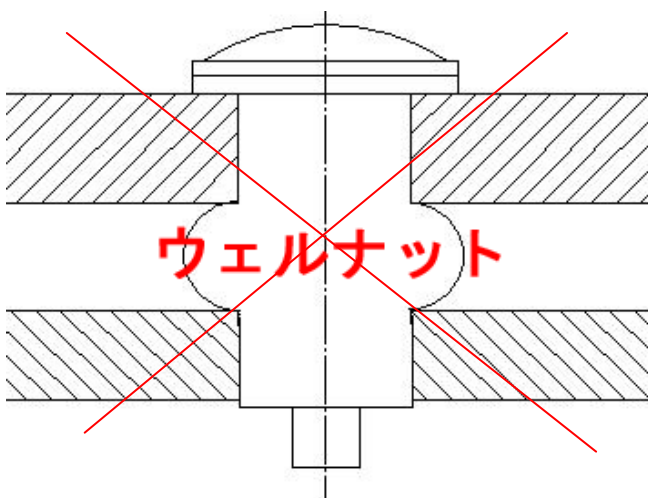
18. フロントカウルにモータを取り付ける。
ナットは細いドライバー等で適宜動かす。



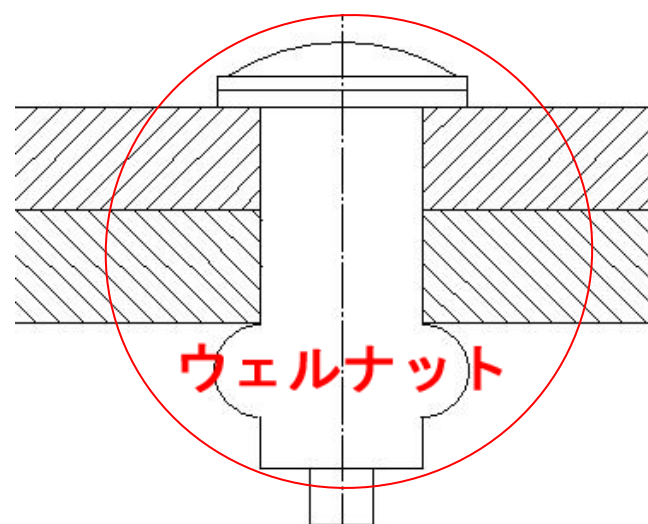
19. カプラーをしっかりとつないでからカウルを被せてモータの作動確認をする。
コードを挟まないよう注意する。



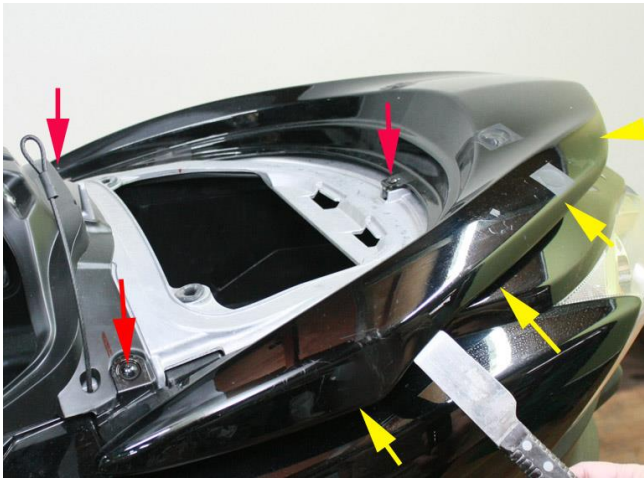
20. スクリーンを被せてこの時点では下の2本だけウェルナットで仮止めする。



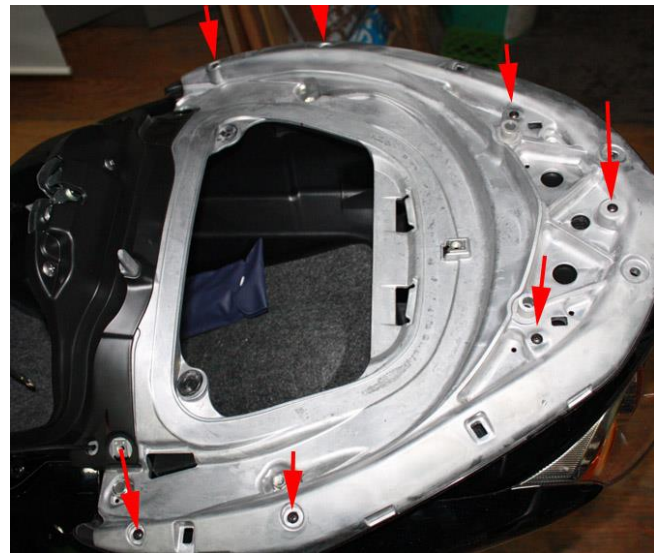
21. 締め付けるものに隙間があるとすき間でゴムが膨れて締め付けられない。



22. すき間が出来ないように押さえながら絞めていく。



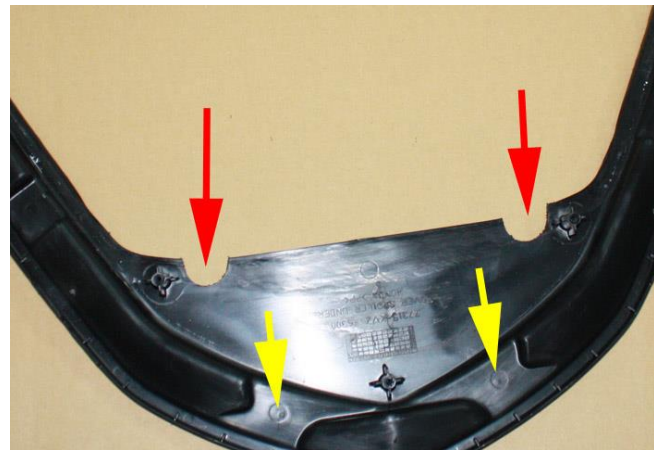
2 3. 赤矢印のビスを取ってから黄矢印の位置をヘラで外す。



2 4. 矢印のビスを取って



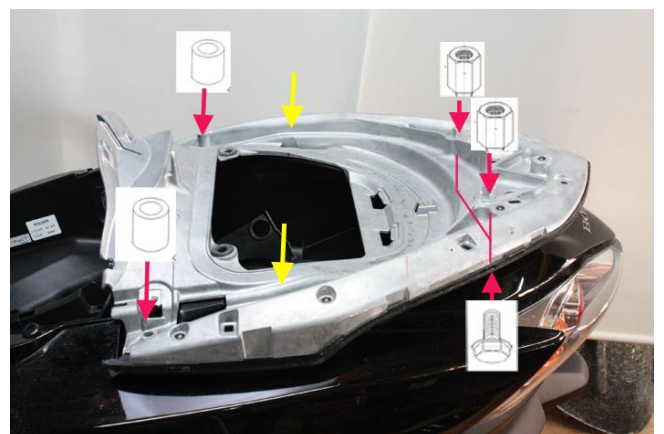
2 5. ウィング下のカバーを外す。



2 6. 凹みマークの赤矢印の部分20mm丸ぐらい切り欠く。キャリヤ使用の場合は黄矢印も。



2 7. カバーを元に戻す。



2 8. 後部赤矢印部に高ナットを取り付けてから、黄矢印部をノーマルビスで車体に固定する。



29. パイプ支柱ブラケットを取り付ける。



30. ウェルナットを使ってパイプ支柱を固定。
左右の区別に注意。



31. 支柱とルーフの接続もウェルナット。



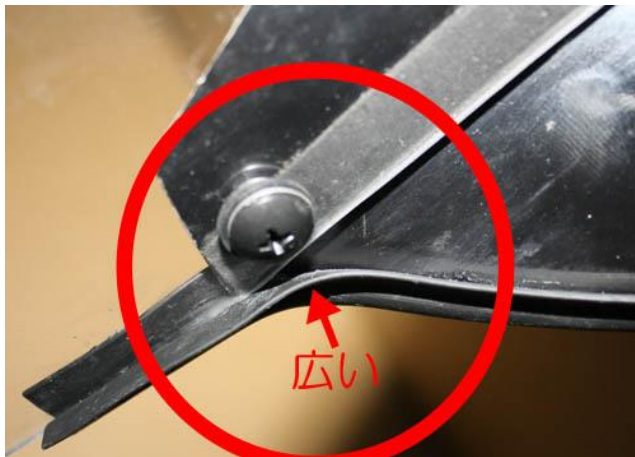
32. 赤線部分に溝ゴム（レインモール）をつける。



33. モールをめくって奥(下)へ15cm 間隔でごく微量点付。モールが波打たないよう、すぐに下から押さえる。



34. 普通に接着していくと上のように雨どい溝が狭くなり、雨水がすぐにオーバーフローし易くなる。



35. 上のように溝が広くなるように接着する。
場合によってはゴム裏側を上向きの力を加えて裏側も接着する。



36. スクリーンとルーフの段差があると雨水がその隙間から入り込み溝底を伝って最後にスクリーンとフロントカウルの間に入り込んでしまうことがある。

わずかの隙間もないよう細い棒などで充填剤を押し込む。



37. ワイパーアームにブレードを接続



39. 一旦シャフトにしっかりとまり込むまで緩めてから締める。このボルトが緩むとアームがずれた位置で動き、スクリーンやカウルを傷つけることになるので、しっかりとめに締める。ただし、メネジ側材質がアルミ系のため、なめやすいので締めすぎないように注意する。

38. ワイパーモーターを定位置停止の状態にする。

メインスイッチを回してからモータースイッチを ON、作動確認してモータースイッチ OFF
その後メインスイッチ OFF。

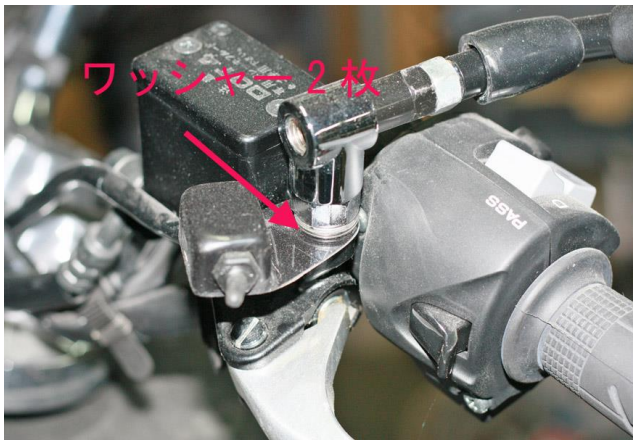
《これでワイパーモーターは定位置停止(アクセルグリップ側)で停止した事になる》

モーターシャフトに目印のテープを張ると目視確認しやすい。

定位置停止でない状態で、アームを固定し作動させると、作動範囲外で動くためスクリーン、カウルを傷つけてしまうので要注意。



ワイパーブレード正面図



40. ワイパースイッチはミラーの根本に共締め。
ロックナットが回し易いようにワッシャー2枚使用する。



41. 付属のドリルビットで穴をあけウェルナット固定



42. 通常取り付けではミラーアームがスクリーンに当たるので直角アダプターでミラーを後方の低い位置に移動させる。以上で終了です。